

# 新しい水戸市民会館が開館しました!

## ごあいさつ

東日本大震災により被災した水戸市民会館が、12年の歳月を経て、まちなど真ん中に、新しい水戸市民会館として開館いたしました。

長年にわたり御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に改めて、心から厚く感謝と御礼を申し上げます。

水戸市民会館は、隣接する水戸芸術館とともに、「M i t o r i O」の一角を構成し、芸術文化の拠点、そして、にぎわい創出の拠点となる施設です。また、未来を創るこどもたちの感性を育む大切な場ともしていきたいと考えております。

拠点としての様々な施策を展開する中で、この場所で、今までの水戸では体験できなかった芸術文化に触れていただき、さらに、水戸ならではの新しい文化を生み出していただくことを強く願っております。あわせて、サードプレイス（第三の居場所）としてもご利用いただくことで、市民の皆様にも、水戸市民会館が「夢をひらく新しい扉」と感じていただけるような、愛される施設に育てていきたいと考えております。

「こども育む くらし楽しむ みらいに躍動する魁のまち・水戸」を実現していくためにも、水戸市民会館が有する機能を最大限に発揮させ、先導的な役割を果たしながら、将来にわたって、にぎわいのある楽しめるまちを全力でつくってまいります。



水戸市長 高橋 靖 氏

7月2日に開館した水戸市民会館。もう足を運んだ方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

水戸市民会館には、茨城県内最大の2,000席を有するグローブスホールや、482席のユードムホール、小ホールに加え、会議室や展示室、各種スタジオや和室があり、大規模な会議やコンベンションのほか、創作など、趣味の場所として利用することもできます。

さらに、ラウンジギャラリーやこどもギャラリーなど、休憩や勉強、遊びなどで自由に利用することができる空間もあり、日常的に訪れたい、居心地の良い場所です。まだ訪れたことがない方も、お仕事やお買い物のついでに、ふらっと立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



建物の設計は、「伊東豊雄建築設計事務所・横須賀満夫建築設計事務所 共同企業体」によるもの。  
(写真提供：水戸市)

設計者の伊東豊雄氏は、「建築界のノーベル賞」と称されるプリツカー賞を受賞した建築家です。隣り合う水戸芸術館（磯崎新氏設計）とともに、まちなかにプリツカー賞受賞者の建築が立ち並ぶ光景は、全国的にもかなり貴重です。

## 水戸市民会館の主な施設を水戸市役所新市民会館整備課の職員が紹介します。

### ●やぐら広場

木製の柱と梁を組み上げて作られた屋内広場。販売会やパネル展示、マルシェなども開催できます。



やぐら広場  
2階部分がラウンジギャラリーとなっています。

### ●ラウンジギャラリー

予約などの手続きなしで、誰でも気軽に休憩や勉強、読書などに利用できます。

### ●グロービスホール

茨城県内最大の2,000席（1階席1,293席、2階席333席、3階席374席）を有し、コンサートや講演など、さまざまな催しを開催できる多目的ホールです。車椅子席のほか、ガラス張りで防音の親子室があるので、小さなお子様と一緒に安心して鑑賞できます。壁面の音響反射板は、梅の花がモチーフになっています。



グロービスホール

### ●ミーティングラウンジ

大会議室前のラウンジ。コンセントもあるので、会議資料の作成や打合せなどに利用できます。コイン式のコピー機も設置されています。

### ●各種スタジオ

1時間単位で利用ができます。ヨガや体操など、体を動かせる広さのスタジオのほか、ピアノやドラムセット、アンプなどが常設され、バンドの練習などにも使える音楽室や、水道・流し台を備えた工作室、調理室があります。



音楽室

### ●こどもギャラリー

ユニークな形の大きなソファのほか、絵本もあり、雨の日でも安心して、親子で遊べるギャラリーです。



こどもギャラリー

### ●芝生広場・屋上庭園

水戸市民会館の屋上には、芝生広場や屋上庭園があり、開放日は自由に見学することができます。

水戸芸術館の塔も手の届きそうな近さで見ることができます。



設備や利用料金などの詳細は、水戸市民会館ホームページをご覧ください。

### 〈水戸市民会館について〉

住所／水戸市泉町1-7-1 開館時間／8:30～22:00 休館日／年末年始

※「泉町一丁目」バス停下車。車でお越しの場合は、周辺の有料駐車場(500m圏内に約4,500台)をご利用ください。

